



市民意識調査のお願い

能代市では、『“わ”のまち 能代』を将来像に掲げ、市民の皆さまとともに考え、行動するまちづくりに取り組んでおります。市民の皆さまが日ごろ感じていることや考えていることをお伺いし、市政運営に活用させていただくため市民意識調査を実施することといたしました。この調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為で選んだ2,000人を対象に行うものです。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、この調査への皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

平成26年6月

能代市長 齊藤 滋 宣

各 位

記入上の注意

1. 回答は、それぞれの問いで当てはまる番号を○で囲んでください。
2. 調査用紙は、お手数でも7月7日（月）までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご投函ください。
3. 返信用封筒に住所氏名などの記入は不要です。
4. 調査結果は、全て統計的に処理いたします。

どなたがどのような回答をされたか公表されることや、他の目的に使用することは一切ありませんので、率直なご回答をお願いいたします。

■お問い合わせ 能代市地域情報課広報広聴係
電 話 (89) 2147
ファクス (89) 1770
Eメール kouhou@city.noshiro.akita.jp

平成26年度市民意識調査について

- 調査の目的 幅広い年齢層の方を対象に、生活環境や市の施策などについてどのように感じ、またどのように考えているかを把握し、市がこれまで実施してきた施策・事業の検証を行うとともに、その効果や改善策、新たな取り組みなどを検討する際の参考にします。

- 調査概要
 - ・調査対象 市内に居住する満18歳以上の男女2,000人
 - ・抽出方法 住民基本台帳から年代別に等間隔、無作為抽出
 - ・調査方法 郵送による回答方式
 - ・調査期間 平成26年6月20日(金)～7月7日(月)

- 調査項目
 - ・日ごろ感じていることについて 【問1～16】
身近な暮らし、市の特色、バスケの街、地域社会、行政について
 - ・日ごろ心がけて(行って)いることについて 【問17～25】
身近な暮らし、コミュニティ、生ごみの減量・資源化について
 - ・あなたご自身のことについて 【問26～32】
健康、子育てについて、
 - ・市政について 【問33～42】
知りたいこと、意見要望の伝え方、職員像、食育、高齢者、北高跡地の活用について
自殺予防について
 - ・あなたについて(回答者プロフィール) 【問43】

※ 調査票は、表面と裏面があります。裏面も忘れずにご記入ください



調 査 票

【日ごろ感じていることについておたずねします】

次のことについてどのように感じていますか。

設問ごとに該当する番号1つに○をつけてください。

※この設問の中で

地区とはおおむね自治会・町内会または小学校区の単位とします。

地域とはおおむね市全域とします。

記入例

【記入例】 ○○○○と思う	1	2	3	4	5	6
----------------------	---	---	---	---	---	---

思う	どちらかといえば思う	どちらともいえない	どちらかといえば思わない	思わない	わからない
----	------------	-----------	--------------	------	-------

(身近な暮らしについて)

問 1 飲料水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う	1	2	3	4	5	6
問 2 地元産の農産物は安全でおいしいと思う	1	2	3	4	5	6
問 3 除排雪や清掃活動など、近所や自治会・町内会など協力し合う体制が整っていると思う	1	2	3	4	5	6
問 4 子どもが地区でのびのびと育っていると思う	1	2	3	4	5	6

(市の特色について)

問 5 米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は他に誇れると思う	1	2	3	4	5	6
問 6 豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う	1	2	3	4	5	6
問 7 木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う	1	2	3	4	5	6

(バスケの街について)

問 8 バスケを楽しめる環境があると思う	1	2	3	4	5	6
問 9 バスケの街を他に誇れると思う	1	2	3	4	5	6
問10 バスケの街づくりに関わりたいと思う	1	2	3	4	5	6

(地域社会について)

問11 子育てについて地域で支えあう雰囲気があると思う	1	2	3	4	5	6
問12 障がいを持つ人も社会参加できる環境が整っていると思う	1	2	3	4	5	6
問13 性別や国籍、言語などに関わらず、一人ひとりの個性や能力を發揮できる地域になっていると思う	1	2	3	4	5	6
問14 「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定した考え方には反対と思う	1	2	3	4	5	6

(行政について)

問15 市職員は日ごろ仕事をよくやっていると思う	1	2	3	4	5	6
問16 市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う	1	2	3	4	5	6

【日ごろ心がけて（行って）いることについておたずねします】

次のことについて心がけて（行って）いますか。
設問ごとに該当する番号1つに○をつけてください。

心がけている	どちらかといえ ば心がけている	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば心がけていな い	心がけていな い	わからない
↓	↓	↓	↓	↓	↓

（身近な暮らしについて）

問17 限りある資源を大切にするため資源ごみを分別すること	1	2	3	4	5	6
問18 地域資源を活用した商品や製品（例えば白神山地の酵母を使った食品、木材・木工製品など）を利用すること	1	2	3	4	5	6
問19 地元商店街や近所の商店を利用すること	1	2	3	4	5	6
問20 災害など、もしもの場合に普段から備えること	1	2	3	4	5	6

（コミュニティについて）

問21 自治会・町内会活動やボランティア活動など、市民活動へ参加すること	1	2	3	4	5	6
問22 地区の祭りや七夕・民俗芸能などへ参加すること	1	2	3	4	5	6
問23 学んだ知識や特技を地区活動や行事などで発揮すること	1	2	3	4	5	6

（生ごみの減量・資源化について）

問24 家庭で、コンポスト容器や段ボール箱を利用した堆肥化など、生ごみの資源化に取り組んでいますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 取り組んでいる
2. 取り組んでいない

問25 前問で「2」と答えた方におたずねします。今後、生ごみの資源化について講習会等を開催した場合に参加し、取り組んでみたいですか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 講習会等に参加して取り組んでみたい
2. 講習会等に参加しなくても取り組んでみたい
3. 取り組むつもりはない
4. その他（具体的に： _____）

【あなたご自身のことについておたずねします】

(健康について)

設問ごとに該当する番号1つに○をつけてください。

	健康である	どちらか健康であれば	どちらともいえない	どちらか健康でない	健康でない	わからない
問26 からだの健康状態	1	2	3	4	5	6
問27 心の健康状態	1	2	3	4	5	6

問28 現在、たばこを吸いますか。該当する番号1つに○をつけてください。(20歳以上の方)

1. 吸っている 2. 以前は吸っていたが今は吸わない 3. 吸わない

問29 気軽に相談ができる身近なかかりつけ医やかかりつけ薬局がありますか。設問ごとに該当する番号1つに○をつけてください。

- ・「**かかりつけ医**」とは…あなたの健康管理をしてくれる身近なお医者さんのことで、病気以外の健康に関わる心配ごとについても、気軽に相談できるお医者さんです。
- ・「**かかりつけ薬局**」とは…医師の処方せんによる調剤や、一般用医薬品を購入する薬局を決めておくことであり、同じ効き目の薬の重複や飲み合わせのチェックができ、お薬相談など健康管理もしてもらえる薬局のことです。

	ある	どちらかといえ	ない	わからない
問29-1 身近な かかりつけ医	1	2	3	4
問29-2 身近な かかりつけ薬局	1	2	3	4

問30 薬局などからもらう「お薬手帳」を活用していますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 1冊で薬すべてを管理している 2. 何度か別々にもらい、何冊も持っている
3. もらったことはあるが無くした 4. もらったことはない

問31 どれくらいの頻度で運動・スポーツ(散歩、ラジオ体操等も含む)をしていますか。該当する番号1つに○をつけてください。また、1~7と答えた方はその種目・内容を()にお書きください。

1. ほとんど毎日 2. 週3回くらい 3. 週2回くらい
4. 週1回くらい 5. 月1~3回くらい 6. 年3~4回くらい
7. 年1~2回くらい 8. まったくしない

{ 運動・スポーツの種目・内容 }

(子育てについて) ※小学生以下のお子さんのいらっしゃる方のみお答えください。

問32 あなたは子育てをどう感じていますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい
3. つらいと感じることの方が多い
4. わからない 5. その他(具体的に:)

【市政についておたずねします】

問33 市政について特に知りたいと思っていることはどのようなことですか。3つまで選んで該当する番号に○をつけてください。

1. 市長の考え方
2. 市の予算の使い方
3. 市が取り組んでいる仕事の内容や進みぐあい
4. 市が計画している仕事やその内容
5. 新しくできた制度やその事務手続
6. 市が抱えている大きな問題や困っていること
7. 市の施設やその利用方法
8. 市の行事や催し物
9. 市のいろいろな統計資料
10. 市の歴史や文化・芸能など
11. 市議会で審議されている内容
12. その他（具体的に： _____)

問34 市政に対する意見や要望がある場合、どのような方法で伝えますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 自分で直接市役所を訪れて話すか電話で伝える
2. 陳情や請願をする
3. 市議会議員を通じて伝える
4. 自治会・町内会長を通じて伝える
5. 「市長への手紙」（Eメール、ファクス）で伝える
6. 新聞等への投稿を行う
7. 知り合いの市の職員を通じて伝える
8. 伝えない
9. その他（具体的に： _____)

問35 どのような市職員を特に求めますか。3つまで選んで該当する番号に○をつけてください。

1. サービス業という意識を持っている職員
2. 社会の変化を敏感に察知し、それに対応できる職員
3. 笑顔で親切丁寧な対応のできる職員
4. わかりやすく説明のできる職員
5. 迅速で効率的な仕事のできる職員
6. 市民の立場に立って物事を考える職員
7. 自分の発言や行動に責任を持てる職員
8. 誰にでも公平に接する職員
9. 現状を正しく理解し、正確に判断できる職員
10. 柔軟な対応のできる職員
11. 専門的知識・技能を持ち、それを市民に還元しようとする職員
12. 仕事を立案・実施・点検・改善できる職員
13. その他（具体的に： _____)

問36 市政情報を主にどのような方法で得ていますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 広報のしろ
2. 広報のしろ以外の市発行の印刷物（直接送られる通知など）
3. インターネット（ホームページなど）
4. 新聞
5. フリーペーパー（無料の情報誌など）
6. その他（具体的に： _____)

(自殺予防について)

問37 能代市が自殺予防対策に取り組んでいることを知っていますか。

1. 知っている
2. 知っているが、内容までわからない
3. 知らない

問38 自殺予防のため、どんな取り組みが必要だと思いますか。3つまで選んで該当する番号に○をつけてください。

1. 自殺予防シンポジウムの開催
2. 悩みを傾聴できるボランティアの育成
3. 自殺予防に取り組む民間団体への支援
4. 医療・介護従事者のメンタルヘルス研修会の開催
5. 心の健康づくりに関する健康教室の開催
6. 広報やホームページでの啓発・相談窓口一覧の配布
7. 電話相談・家庭訪問
8. 的確な支援につなげられるよう市窓口職員の研修
9. その他（具体的に：

(食育について)

問39 「食育」という言葉を知っていますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 言葉も意味も知っている
2. 言葉は知っているが、意味はわからない
3. 言葉も意味も知らない

問40 「食育」に関心がありますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 関心がある
2. どちらかといえば関心がある
3. どちらかといえば関心はない
4. 関心はない

(能代北高校跡地の活用について)

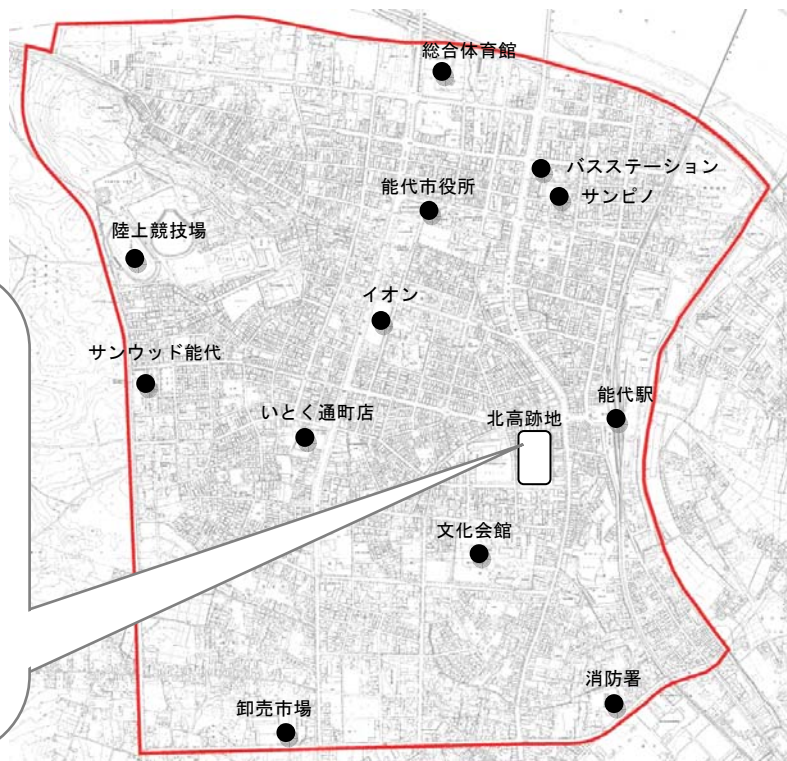
市では、能代北高校跡地を中心市街地の活性化を始め、市の重要施策実現のために活用したいと考え、具体的な活用の検討に着手しました。今後の検討の基礎的資料にします。

問41 能代北高校跡地には、どんな機能が必要だと思いますか。次の欄に、自由に記載してください。

問42 能代北高校跡地で行なわれるイベントに出かける場合、交通手段として何を利用されますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 徒歩
 2. 自転車
 3. バイク
 4. 自家用車
 5. バス
 6. 電車
 7. 行かない
 8. その他
- (具体的に：

※能代市では、中心市街地の区域を地図上の実線で囲まれた地域としております。



【食と健康をテーマにしたイベント】

市
いち

日時： 6月29日、 7月27日
8月31日、 9月14日
9月28日、10月12日
10月26日、11月16日
12月14日、 2月22日

いずれも日曜日、8：30～14：30

場所：能代北高校跡地

【あなたについて（回答者プロフィール）】

問43 お答えいただいたあなたご自身について、該当する番号に○をつけてください。

(1) あなたの性別は

1. 男
2. 女

(2) あなたの年代は

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代以上

(3) あなたの家族構成は

1. 1人世帯
2. 夫婦のみの世帯
3. 夫婦と子供のみの世帯
4. 3世代以上の世帯
5. その他の世帯

(4) あなたのお住まいの地区は

1. 本庁地区
2. 向能代地区
3. 南地区
4. 扇淵地区
5. 檜山地区
6. 鶴形地区
7. 常盤地区
8. 天神地区
9. 荷上場地区
10. 二ツ井地区
11. 種梅地区
12. 田代・濁川地区
13. 切石・荻又石地区
14. 仁鮒・小掛地区
15. 富根地区

